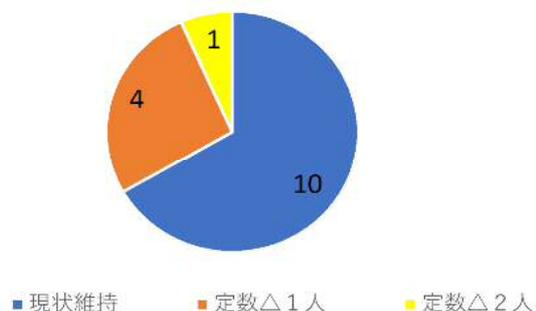


議員定数に関するアンケート 集計結果

調査日：令和5年6月30日～7月14日

集計結果：下表のとおり

回答	回答数
現状維持	10
減らすべき（1人減）	4
減らすべき（2人減）	1
合計	15



議席	回答	定数	理由
1	減らすべき	15	市税支出削減の為、減数を求める市民の声を多く感じている。現在約9カ月間15名で議会運営している事は明らかな事実で減数を求める市民に今後、減らさない理由を説明出来ない。
2	現状維持		参考資料からは、変更するべきとの状況にないと考えます。また、成り手不足により定員割れの恐れがあるわけではなく、これまでの選挙では立候補者が定員を上回っている。委員会活動を考慮しても現在の人数が適正と考える。
3	現状維持		今後人口減少などの理由から議員定数を削減する必要はありかもしれませんが、今はまだその時期ではない。
4	現状維持		市民の声を十分に聴くには、今の人数でも多いとは言えず、類似団体と比較しても多すぎることもなく妥当な数であると思いますので、現状のままでよいと思います。
5	現状維持		これ以上減らすと意見の多様性に欠ける危険性が大になると考える。現在でも大都市以外では地区対抗戦のようになっている状況が更に助長されかねない。居住地区が大きな立候補者が優位性を持つのは如何なものか。市全体としての市議会議員の職責を果たすべきだと考えているので、とても疑問に感じている。
7	減らすべき	14	何が良策なのか悩むところではあったが、議員定数検討特別委員会での協議を経て、今現在は減らすべきと考えている。協議の中でも意見が出ていたように、現状でマイナス1もしくはマイナス2の状態でも運営できている事実はある。その状態で議会運営をすることと、16名での議会運営とを比較した際、運営・費用・行政への影響等々を鑑みて、どちらを選択するか検討した際、減員にして大きな問題は生じないと思う。
8	現状維持		議員の職務内容を考えれば、現状の定数が必要である。
9	現状維持		多様な市民の声、生活実態をつかみ、市政に反映するためには少なくとも現状維持が必要だと思う。
10	減らすべき	15	市民の議会への関心度を高める。最低当選ラインのアップにつながる。
11	減らすべき	15	昨年10月の市議会議員選挙結果及び事実上15名で議会運営ができていることにより。

12	現状維持		現在15名での議会活動になっているが、委員会構成も1人欠員状態で運営している。当初想定していなかった構成で、1人の発言が重要な時がある。投票者の減少もあって票が伸びず、今回の選挙結果になり検討委員会を立ち上げて議論を展開しているが、人口や、定数を近隣市と比較しても平均的位置におり、現状の16人の体制で行くべきと考える。
13	減らすべき	15	議員定数16人に対し、現在1人欠員状態の体制で議会運営が営まれているが、特段問題はないものと判断する。
14	現状維持		1、現時点で特に減らさなければならない理由が見当たらない。 2、議会運営上、常任委員会等構成等現在の16名が適切である と考える。 3、参考資料を見ても加東市議会が多い、少ないとは思わない ため現状のままで良いと考える。
15	現状維持		<ul style="list-style-type: none"> ・16人で良い。 ・増やす必要はない。 ・これ以上に少なくなると、委員会運営に弊害が出てくるのでは。 ・14人の議会など研究してから考えることは必要だと思う。
16	現状維持		定数だけをとらまえると特段何か困っている訳でもない。報酬、若い方の出やすい環境づくり等と併せて議論することはあり得ると思うが。

★自由記載

下位当選者の得票数だけを見た場合には、少ないとの見方もあるかもしれませんが、得票率の多い候補者が多数となれば、必然的に下位当選者の得票数は減少する傾向にあると考えます。投票率が低い事が得票数に影響する事もあり、投票率の向上が望まれます。

新人議員も増えた現状、議員定数を削減することよりも議員の責任を果たせるためのレベルアップに力を注ぐべきと考えます。議員としての役割を果たすべく政務調査や研修など議員活動として必要な経費について検討をお願いしたい。

議員活動、議員職務内容を精査し、活動並びに職務についての改善を考えること必要と思う。

今後は、投票率増に向けて取り組むのと、若者や女性、18歳からの投票者をどう選挙に関心をもってもらうか、現在の議員報酬で議員へのなり手があるのか議会及び議員個人の市民へ貢献をどう進めて、議会活動に関心をもってもらうかが重要になってくると思う。

議員定数に関するアンケート 集計結果（意見別）

回答	理由
2名削減	<p>何が良策なのか悩むところではあったが、議員定数検討特別委員会での協議を経て、今現在は減らすべきと考えている。協議の中でも意見が出ていたように、現状でマイナス1もしくはマイナス2の状態運営できている事実はある。その状態で議会運営をすることと、16名での議会運営とを比較した際、運営・費用・行政への影響等々を鑑みて、どちらを選択するか検討した際、減員にして大きな問題は生じないと思う。</p>
1名削減	<p>市税支出削減の為、減数を求める市民の声を多く感じている。現在約9カ月間15名で議会運営している事は明らかな事実で減数を求める市民に今後、減らさない理由を説明出来ない。</p> <p>市民の議会への関心度を高める。最低当選ラインのアップにつながる。</p> <p>昨年10月の市議会議員選挙結果及び事実上15名で議会運営ができていることにより。</p> <p>議員定数16人に対し、現在1人欠員状態の体制で議会運営が営まれているが、特段問題はないものと判断する。</p>
現状維持	<p>参考資料からは、変更するべきとの状況にないと考えます。また、成り手不足により定員割れの恐れがあるわけではなく、これまでの選挙では立候補者が定員を上回っている。委員会活動を考慮しても現在の人数が適正と考える。</p> <p>今後人口減少などの理由から議員定数を削減する必要はありかもしれませんが、今はまだその時期ではない。</p> <p>市民の声を十分に聴くには、今の人数でも多いとは言えず、類似団体と比較しても多すぎることなく妥当な数であると思いますので、現状のままでよいと思います。</p> <p>これ以上減らすと意見の多様性に欠ける危険性が大になると考える。現在でも大都市以外では地区対抗戦のようになっている状況が更に助長されかねない。居住地区が大きな立候補者が優位性を持つのは如何なものか。市全体としての市議会議員の職責を果たすべきだと考えているので、とても疑問に感じている。</p> <p>議員の職務内容を考えれば、現状の定数が必要である。</p> <p>多様な市民の声、生活実態をつかみ、市政に反映するためには少なくとも現状維持が必要だと思う。</p> <p>現在15名での議会活動になっているが、委員会構成も1人欠員状態で運営している。当初想定していなかった構成で、1人の発言が重要な時がある。投票者の減少もあって票が伸びず、今回の選挙結果になり検討委員会を立ち上げて議論を展開しているが、人口や、定数を近隣市と比較しても平均的位置にあり、現状の16人の体制で行くべきと考える。</p> <p>1、現時点で特に減らさなければならない理由が見当たらない。 2、議会運営上、常任委員会等構成等現在の16名が適切であると考え。 3、参考資料を見ても加東市議会が多い、少ないとは思わないため現状のままで良いと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16人で良い。 ・増やす必要はない。 ・これ以上に少なくなると、委員会運営に弊害が出てくるのでは。 ・14人の議会など研究してから考えることは必要だと思う。 <p>定数だけをとりまえると特段何か困っている訳でもない。報酬、若い方の出やすい環境づくり等と併せて議論することはあり得ると思うが。</p>

議員定数検討特別委員会 開催の経過

回数	項目	内容
1	開催日	令和5年3月9日(木)
	委員会資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議会報告会での議員定数等に対する市民からの意見 ・令和3年10月実施「市民アンケート」より「重点取組課題、定数、報酬、議員に関する意見」の抜粋資料(参考) ・加東市議会議員選挙投票区別・年代別投票率 ・十和田市議会「市議会議員定数に関する調査報告書」
	議題・協議の概要	<p>(1) 議会構成等の課題について(課題の洗い出し) 市議会の現状等について協議 また現時点における議員定数に対する考え方について意見交換した。</p> <p>(2) 今後の進め方について 令和3年度に実施した「加東市議会に関する市民アンケート」及び令和5年1月開催の議会報告会における<u>市民の意見等から課題を抽出する</u>。 なお、委員から、今後、委員会で協議を円滑に進めるため、具体的なスケジュールの提示を求める意見があり、次回の委員会において、正副委員長がスケジュール案を提示し、調査項目等を決定することとした。</p>
2	開催日	令和5年4月26日(水)
	委員会資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議員定数検討特別委員会の進め方について
	議題・協議の概要	<p>(1) 論点整理 「議員定数」に併せて、論点とすべき事項について協議した。 議員報酬、なり手不足対策、議会の機能強化に加えて、政務活動費、類似自治体との比較などの意見が出た。 論点に追加することの可否は、次回以降に決定するとして一旦保留した。</p> <p>(2) 今後の進め方について 先進事例等を研究し、次回改めて決定する。アンケートや視察等の実施要否はその後に決定する。</p> <p><デスクネッツへの資料掲載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波市議会 議員定数・報酬等調査特別委員会報告書 ・西脇市議会 議員定数調査特別委員会報告書 ・全国市議会議長会定数・報酬に関する調査結果

議員定数検討特別委員会 開催の経過

回数	項目	内容
3	開催日	令和5年6月27日（火）
	委員会資料	・開催の経過 ・論点整理 ・進め方 ・類似団体との比較 ・投票率の推移
	議題・協議の概要	<p>(1) 今後の進め方、手順について</p> <p>①委員間の協議により、今後の進め方を次のとおり決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員の意向を把握するため、議員アンケートを実施する。 ・市民の意向を把握するため、市民アンケート又はパブリックコメントを実施する。 ・意見交換会や市民フォーラムの実施可否は、実施方法等を引き続き協議したうえで判断する。 <p>②論点整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬、なり手不足対策、議会機能強化の論点は追加しない。 <p>③議員アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート項目は、「定数を削減か・維持か・増加か」の選択と、その理由を記載するものとする。 <p>(その他意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント（意見募集）を実施する際には、委員会報告等がある程度まとめる必要がある。 ・意見交換会は、区長会（全体・代表）や消防団（幹部）としてはどうか。 ・区長・消防団のように対象（属性）を絞らず、若い方など幅広く市民の意見を反映させるべきではないか。